

岳 報

発行日 令和4年1月10日

水 戸

No. 240

発行所 茨城県東茨城郡

大洗町磯浜町2529

—死ぬのはコロナか餓え死にか—

榎沢 芳明 氏

水戸山の会

報 告

御嶽山 黒沢口

令和3-9/23~9/24

須崎 他1名

9/23 晴 飯森高原駅7:50-黒沢口七合目8:00-黒沢口八合目9:00/9:05-石室山荘12:10/泊

9/24 晴 石室山荘7:20-黒沢口8合目8:30/8:40-黒沢口7合目9:35-飯森高原駅め9:45/戻り

・・・友人と御嶽山に向かった。高齢になり足に自身がないとのことで、ロープウェイを使用し、また、途中で宿泊をすることとした。日帰りで山頂を踏める一番楽なルートということで、多くの人が登っていた。頂上付近では硫黄と亜硫酸ガスの刺激臭がし、噴石で破壊された釣鐘や石畳などが当時の噴火の荒々しさを示していた。

石室山荘は私たちを含めてお客は3名と少なく(コロナでなくてもそんなものらしい)食事も旅館であった。さすがに小屋の標高が2800mあるだけあって、南アルプスや八ヶ岳のハッキリした山のシルエットともに登る朝日は素晴らしいものであった。

ロープウェイを使ってしまうと、少し物の足りない感じがしたが、久しぶりの山で心洗われた。

特別の事はないが、御岳中の湯から登っても時間で一時間、こちらから登っても良かったかもしれなかった。。

(須崎 記)

(次頁へつづく)

(2)

(前頁よりつづく)

会津朝日岳

10/7

清水 単独

曇り後晴

前日に、雨の中、赤倉沢登山口に入る。

雨で草が濡れているため簡易スパッツを付ける。川沿いの道から尾根に出たところで天気は晴。雲海が素晴らしい。しかも暑い。年配の登山者に追い越される。紅葉は、稜線だけが始まってはいるが、まだ少し早かった。雪崩に磨かれた奥深い山である。登山者も平日(木曜日)にもかかわらず7人もいた。人気の高い山だと感じた。

(清水 記)

連絡

山岳保険(日山協共済)

先月にお送りしている申込み手続きについて、**至急**にて記入と提出を行って下さい。.....

会のホームページが支障があつて読み取り出来ないのとは、無関係です。

会費の納入

年度末が近くなっています、組織の運営上の血液ともいえるものです。.....本年3月以前にご納入をお願い致します。

山行報告書の提出

届のないものは無い事になります。山岳保険の適用の支障になる場合も考えられます。各人自身の成果も消滅します。こんな山行は大したものではないときめないで下さい。.....お持ちして下さ。

編集後記

コロナに対する緊急事態宣言が発令されそう。被害者か加害者にならないように、心を集中して切り抜けましょう。では、次号で。